

平成 30 年度 公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する 指標策定に関するアンケート(第 2 回)調査結果

掲載日:平成 31 年 2 月 7 日

教職員支援機構次世代教育推進センターにおいて標記アンケートを実施しましたので、調査結果を掲載します。

調査の概要

調査名称:平成 30 年度 公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する
指標策定に関するアンケート (第 2 回)

実施主体:独立行政法人教職員支援機構

調査対象:67 自治体(47 都道府県教育委員会、20 指定都市教育委員会)

調査期間:平成 30 年 12 月～平成 31 年 1 月(基準日:平成 30 年 12 月 14 日)

調査方法:メールによる質問紙調査

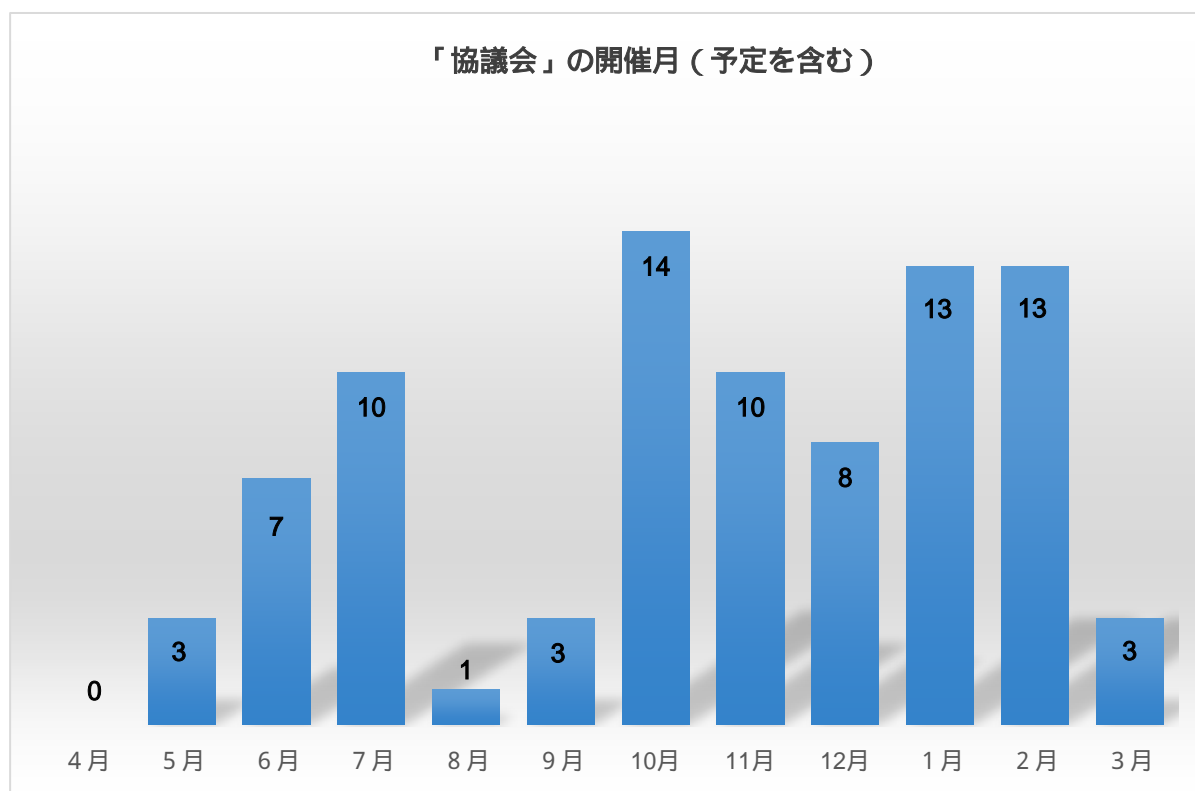
回収率:100%

調査結果の概要

*以下、「自治体」とは、都道府県・指定都市を指す。

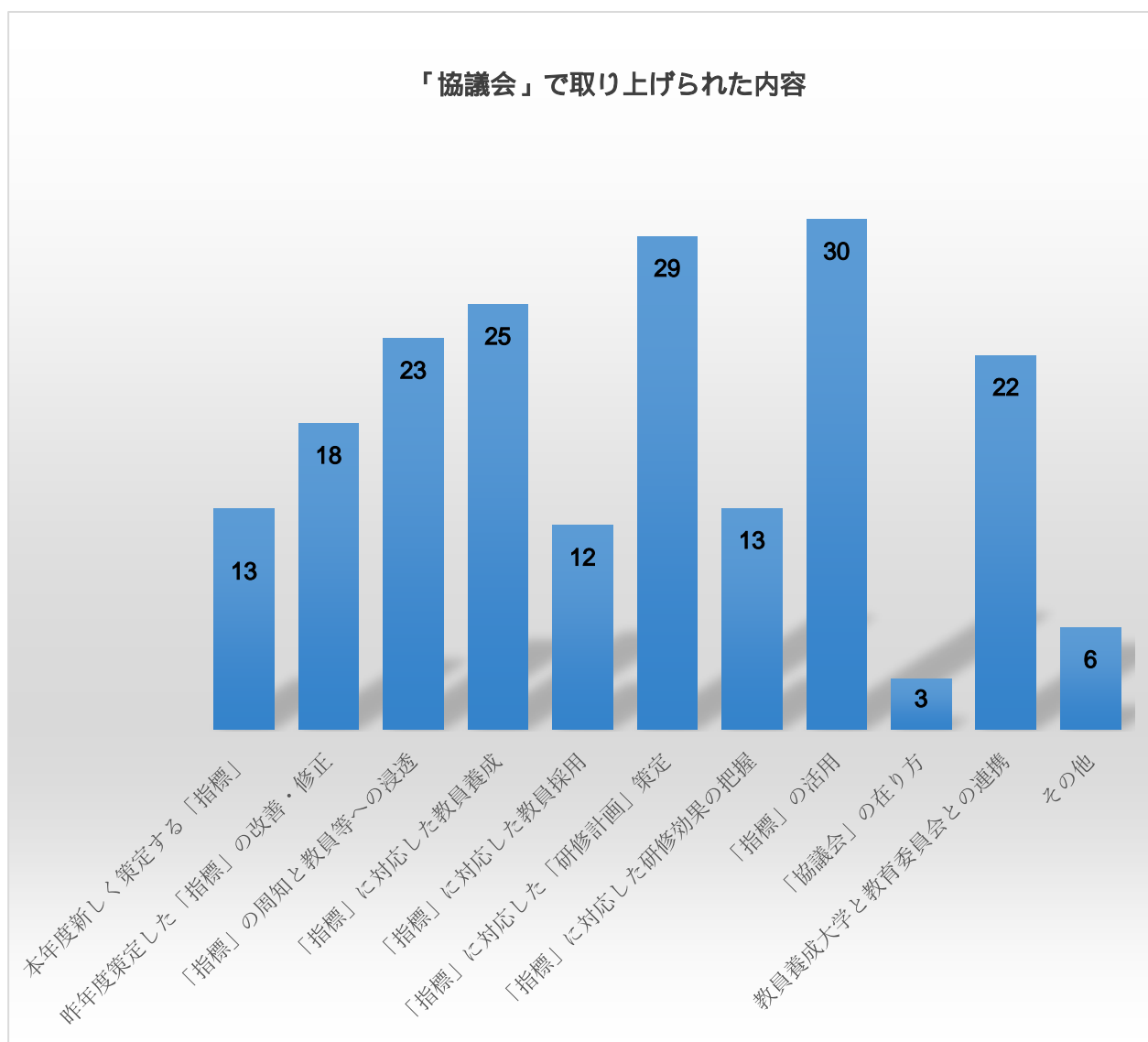
1. 本年度、「協議会」を開催した月(予定を含む)

(回答数:67 自治体 / 67 自治体中 *該当するもの全て選択)



2. 本年度、「協議会」で取り上げられた内容

(回答数: 67自治体 / 67自治体中 * 該当するもの全て選択)

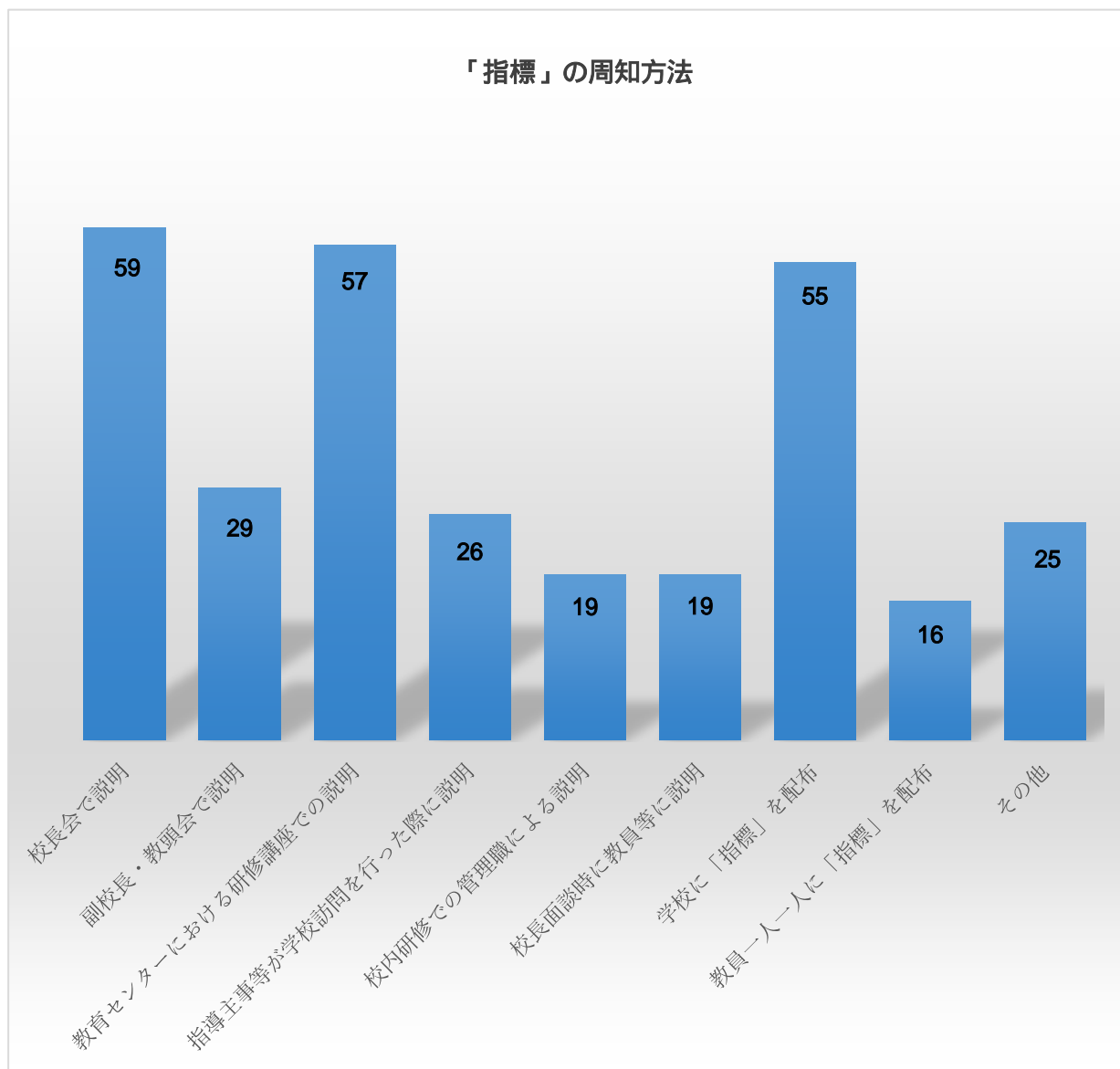


【その他の例】

- ・初任者研修の在り方について
- ・育成を目指す教員等の姿について
- ・小学校英語科の望ましい担当者について、教育実習の指導の在り方について
- ・各大学における教職課程再課程認定申請に関して 等

3 - 1. 「指標」の周知のために行ったこと

(回答数: 67 自治体 / 67 自治体中 * 該当するもの全て選択)

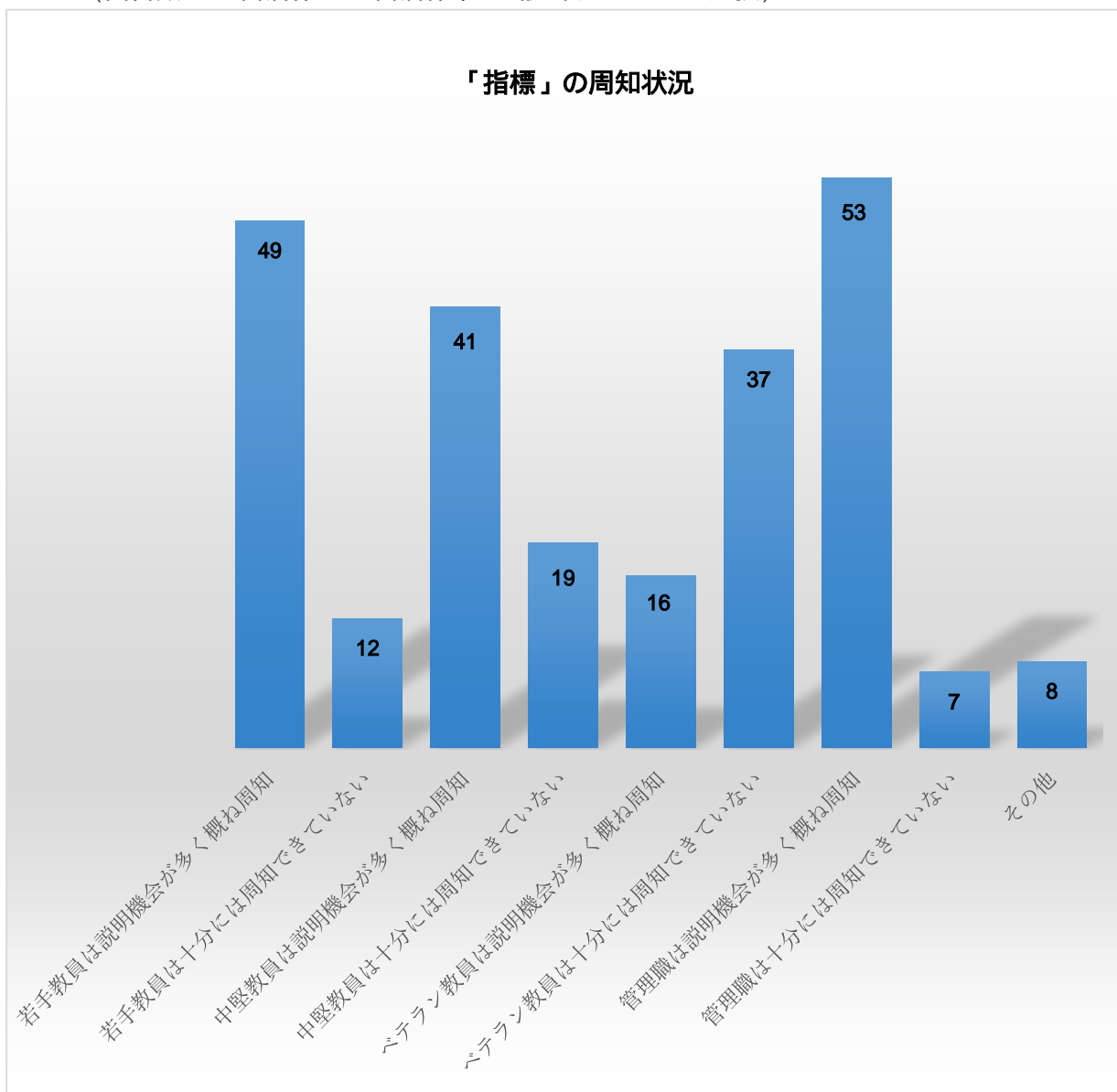


【その他の例】

- ・ 県ホームページに掲載
- ・ 県立学校事務長会議、教育事務所長会議、市町村教委との意見交換会等での説明
- ・ 研修手引書に掲載
- ・ 教員採用選考試験実施要項へ指標の一部（教職着任時）を参考資料として明記 等

3 - 2. 「指標」の周知状況

(回答数: 67 自治体 / 67 自治体中 * 該当するもの全て選択)

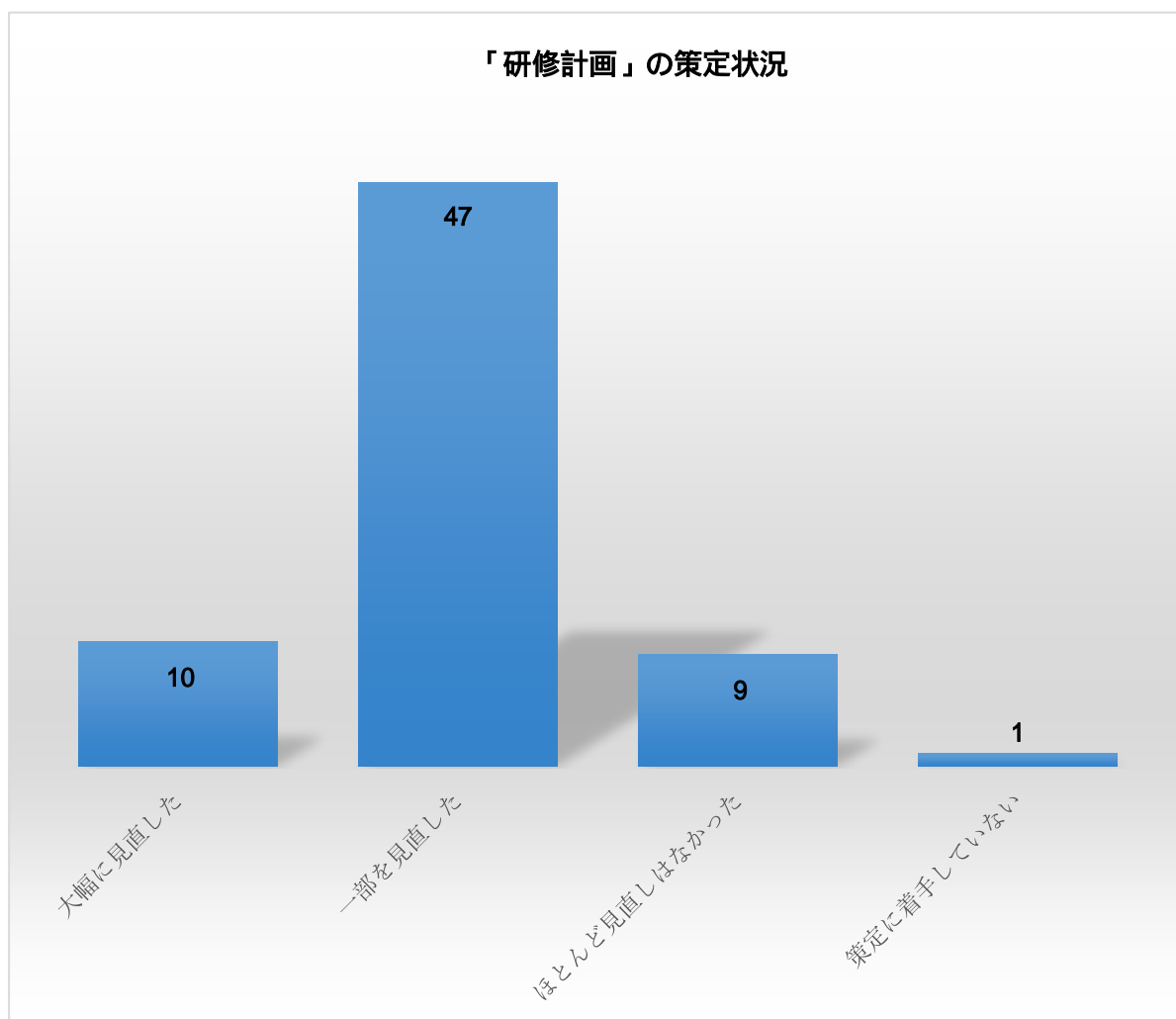


【その他の例】

- ・ 全校への配布や HP への掲載により概ね周知できている
- ・ 管理職には文書で通知しているため、概ね周知できている
- ・ 全ての教員には十分に周知できていないと考えている 等

4 - 1 .「指標」に基づく「研修計画」策定状況

(回答数: 67 自治体 / 67 自治体中 * 該当するもの一つ選択)



4 - 2 .「研修計画」で大幅に見直した内容

(回答数: 10 自治体 / 67 自治体中)

- ・指標の第1期から第4期までのキャリアステージごとに基本研修を設定し、各期に求められる資質・能力を踏まえて研修体系を見直した。
- ・研修体系については、指標の構成を踏まえたものとするとともに、総合教育センター等で実施する集合研修だけでなく、校内研修や免許状更新講習等も位置付けた。
- ・指標の項目に基づき研修を整理した。
- ・対象となるキャリアステージを明確にし、研修内容を焦点化した。
- ・第1ステージには実践力を磨き、基礎・基盤を固められるような研修を、第2ステージには知識や経験に基づいた実践力を高めるための研修を、第3ステージには若手教員の指導を行い、学校の中核的な役割を担うことができるようになるための研修を、第4ステージには指導力を発揮し、学校づくりや教育活動をリードすることができるよう、専門性の高い研修をそれぞれ位置づけている。
- ・経験22年目のベテラン層向けの基本研修を新設。等

4 - 3 .「研修計画」で一部見直した内容

(回答数: 47 自治体 / 67 自治体中)

- ・「指標」策定以前から「ステージごとの研修目標」を設定し、それに基づいて各研修を計画・実施してきており、「指標」は、「ステージごとの研修目標」をベースに作成したため、大幅な見直しの必要は生じなかった。
- ・指標と照合し、不足している部分について、内容を変更した。
- ・ねらいや内容が重複または類似している研修については、統合・廃止を実施。
- ・キャリアステージに応じた形での研修の精査を行った。
- ・キャリアステージの変更による、研修体系の整理。
- ・指標におけるキャリアステージと研修との関連が取れているかどうかを確認し、できていないものについて修正した。
- ・若手教員は授業力や学級経営力に弱さが見られるため、研修内容の一部見直しを図る予定。
- ・6年次研修の受講者は、ミドルリーダーとしての意識に弱さが見られるため、研修内容の一部見直しを図る予定。
- ・各研修のねらい・内容を、「指標」の項目・各ステージの内容で検討し、「研修計画」の一部を見直した。等

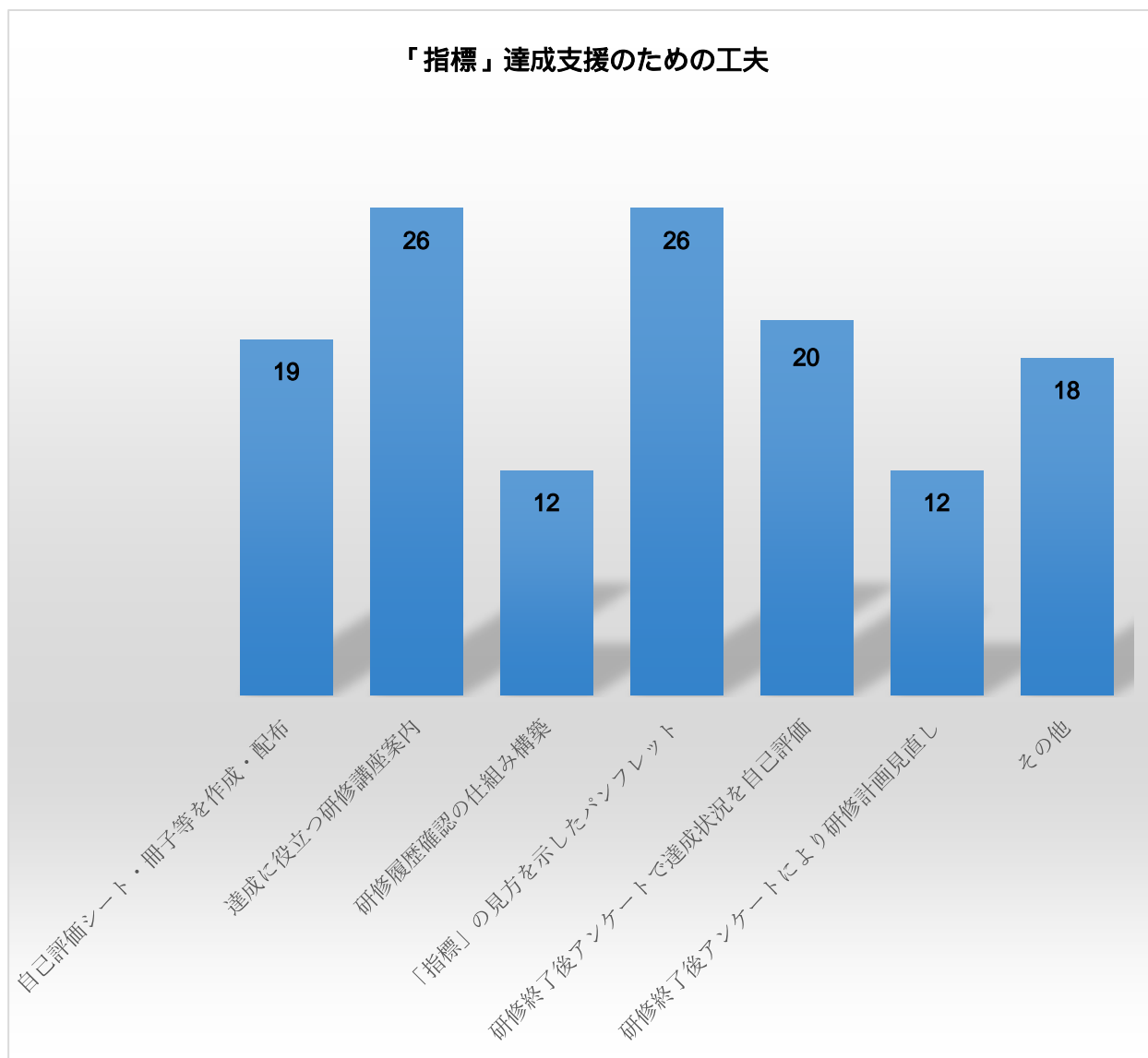
4 - 4 .「研修計画」で見直しを行わなかった理由

(回答数: 9 自治体 / 67 自治体中)

- ・昨年度、全面的に見直しを行ったため。
- ・策定した指標に基づく研修計画という位置づけについては明確に示しているが、研修体系・研修内容については、これまでのもので対応できたため。等

5. 「指標」の達成を支援するために行っている工夫

(回答数：67自治体 / 67自治体中 * 該当するもの全て選択)

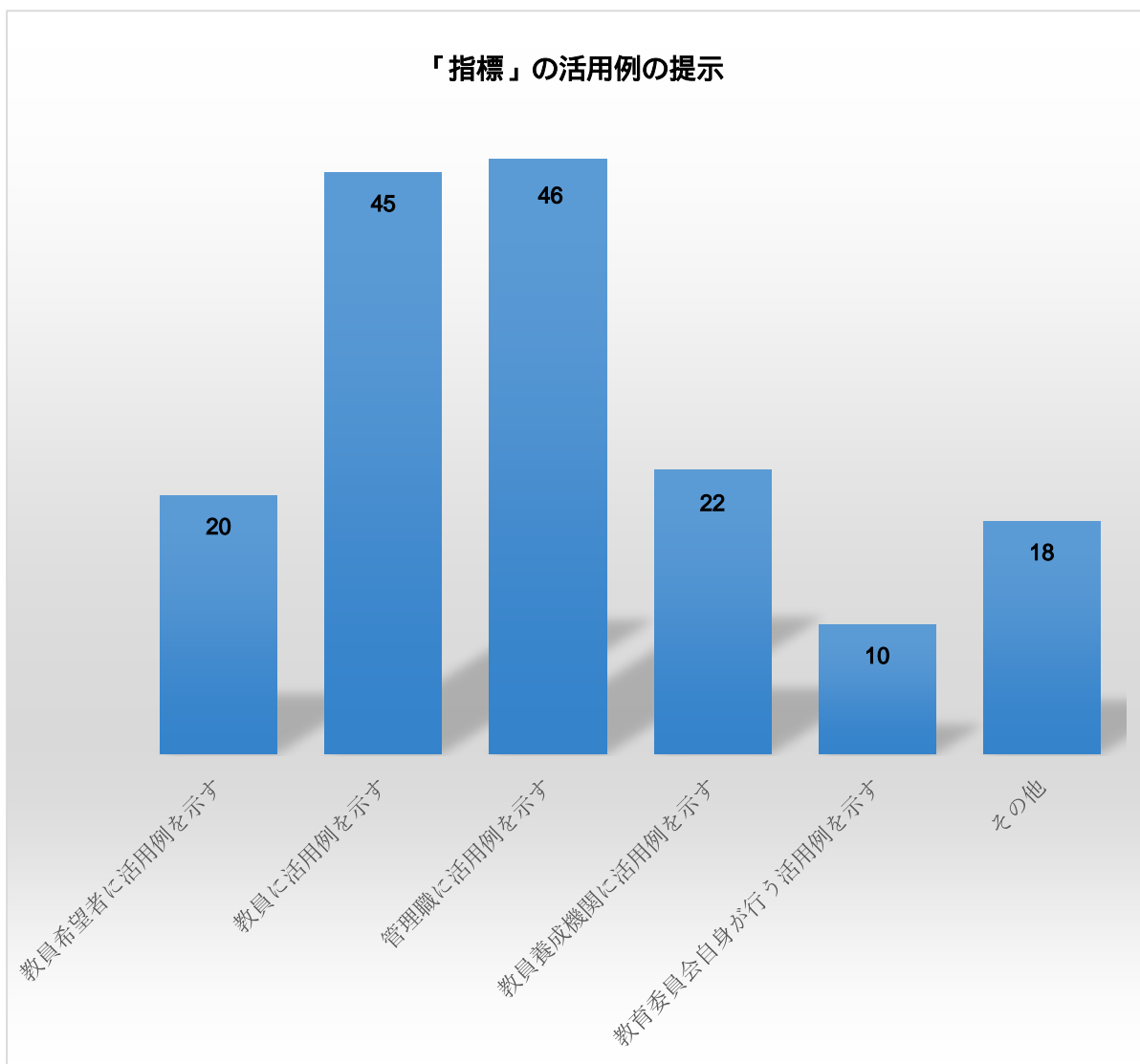


【その他の例】

- ・教職員の研修事業計画書や初任者研修等の研修計画に教員等育成指標を掲載し、「指標」の達成支援に努めている。
- ・現在「指標」の達成を支援する仕組みをどう作るのかを含め、キャリアプランシートの作成を検討中である。
- ・研修講座と指標を連動させるためのキャリアデザインシート(仮称)を作成中。
- ・研修(経験年次研修及び管理職研修)の中で、「指標」の達成状況を自己評価する項目を設定。 等

6. 様々な教育関係者が「指標」を活用できるように行っている工夫

(回答数: 67 自治体 / 67 自治体中 * 該当するもの全て選択)

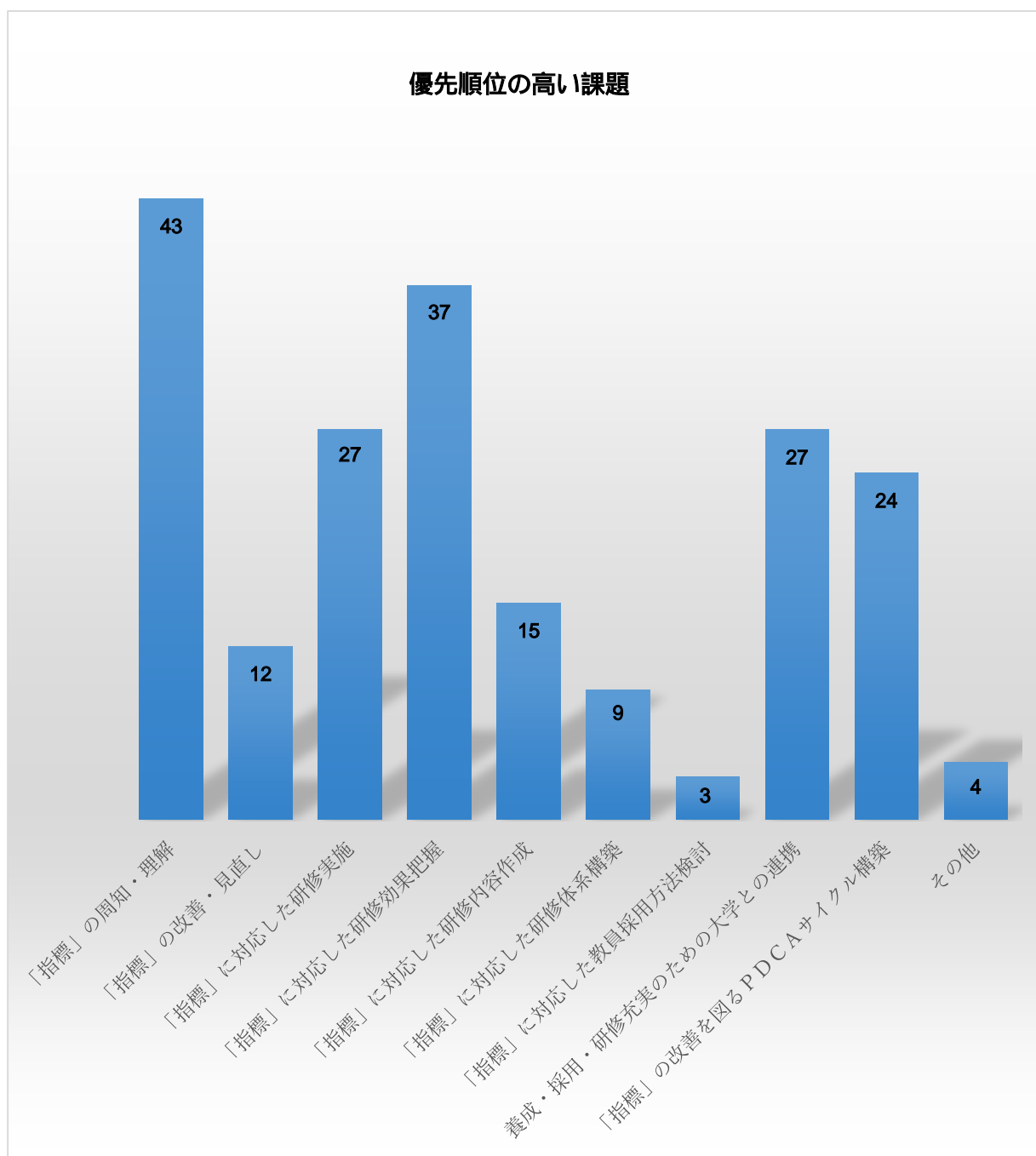


【その他の例】

- ・ホームページに掲載している。
- ・まだできていない。検討中。
- ・今後、教員や管理職に向けて活用例を示していく予定である。
- ・今後、指標の具体的な活用例等を示した資料を学校等へ発信していく予定。
- ・教員採用選考試験の実施要項に示す「このような先生を求めています」に指標の内容を反映。

7. 「指標」に関して現在、優先順位の高い課題と考えられるもの

(回答数: 67 自治体 / 67 自治体中 * 該当するもの3個選択)



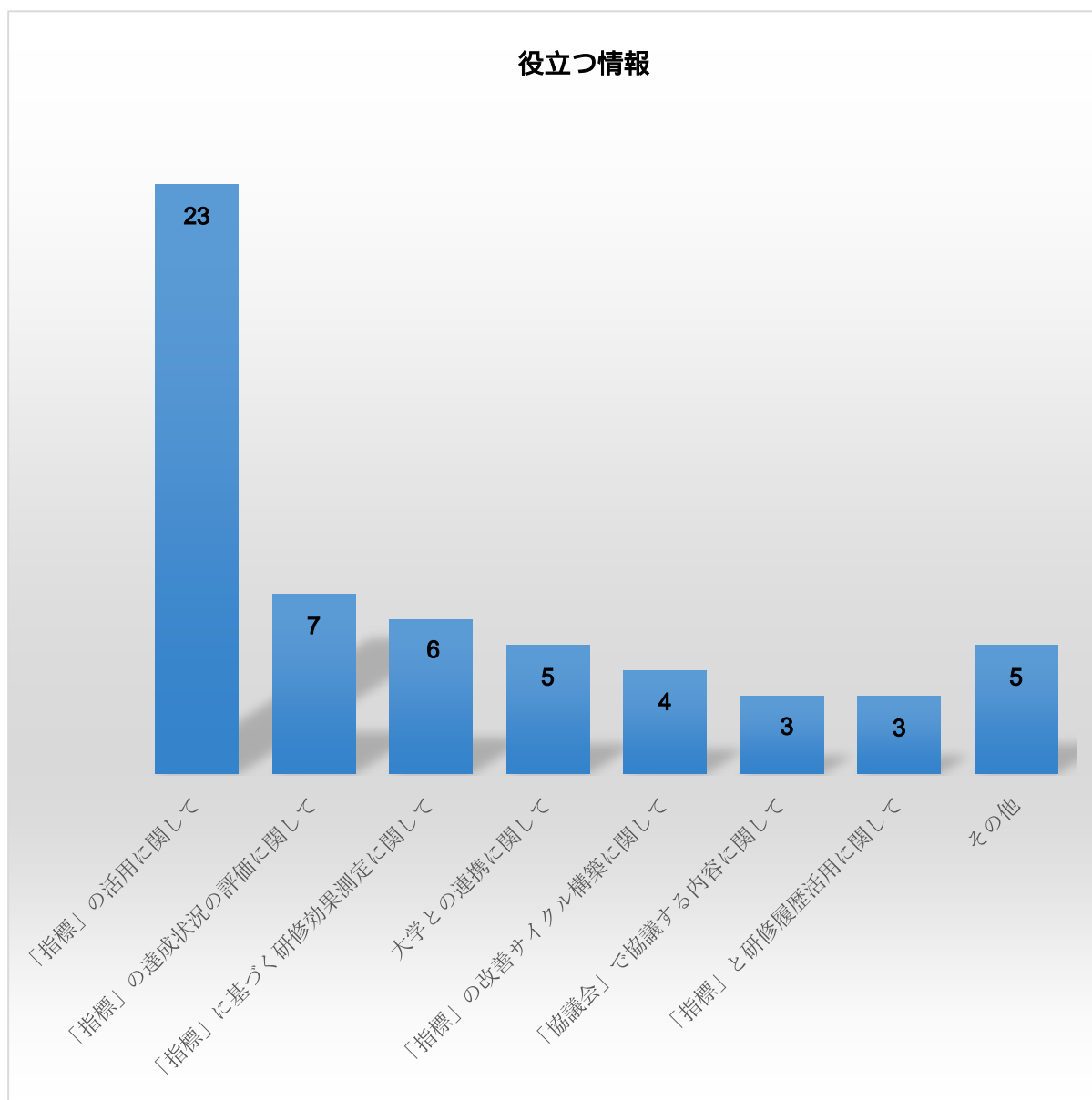
【その他の例】

- ・研修履歴システムの円滑な活用に関すること。
- ・指標策定効果(指標策定の目的達成状況)の把握。 等

8. 今後アンケートで取り上げれば役立つ情報

自由記述(「今後、本アンケートでどのような内容を取り上げて実施すれば、貴自治体にとって役立つ情報が得られますか」という質問の内容の回答例)

(回答数: 34 自治体 / 67 自治体中 複数回答)



【その他の例】

- ・いわゆる「ベテラン期」における指標に基づいた育成方法。
- ・職種別の指標の作成状況及び作成方法。
- ・各都道府県の指標と教育の現状と課題(指標策定の根拠・背景を知りたい)。
- ・協議会の立ち上げ、指標の策定段階では全都道府県アンケートが有効であったが、今後は全都道府県を対象にしたアンケートではなく、指標の活用について秀逸な取組を集めた事例をホームページ上に掲載するなど、具体的な取組の情報提供をしていただきたい。 等